

酢酸の力でウガンダの干ばつに挑む

～日本の農業スタートアップ企業アクプランタが開発した酢酸の作用を応用した干ばつ対策製品を、
気候変動対策シンポジウムで紹介します～

独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、本部所在地：東京都千代田区、以下：JICA）では、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」を通じて、開発途上国の課題解決に貢献する日本企業のビジネス展開を支援しています。

本事業に採択されたアクプランタ株式会社（東京都文京区）は、ウガンダにおいて自社が開発した農業資材「スキープン」の製品登録や販路開拓に向けた調査を進めています。本製品の使用により、植物が本来持つ乾燥や高温に対する抵抗性が促され、干ばつ等の異常気象下でも生育が可能になることが期待されています。

本事業の対象国であるウガンダは、国土の約 70%が農地であり、多くの農家が降雨に依存した伝統的な農業を営んでいます。そのため、異常気象や干ばつなど気候変動の影響を受けやすく、作物の収量減少や生計の不安定化が深刻な課題となっています。

本事業で実施した製品登録試験では、本製品の使用による効果が確認されました。植物の根元などに直接与えるという比較的簡単な使用方法、散布頻度の少なさ、植物種を問わず使用できる点に優位性があり、商品化に向けてウガンダ政府からも強い関心が寄せられています。



スキープン施用区画



通常栽培区画

本事業の一環として、同社は、6 月 22 日（日）から 27 日（金）までの 6 日間、ウガンダ共和国国家農業研究公社（NARO）の研究員を日本に招きます。今回の招へいは、ウガンダで持続的な農業に関連す

る研究に取り組む NARO の研究員がスキープンの効果等について理解することを目的としています。加えて、日本、アフリカ、ウガンダでの農業分野における最新の気候変動対策の相互理解を深める場を提供します。この目的のため、スキープンを使用する農地訪問や、アクプランタと東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部が共催する下記の国際シンポジウムへの出席及び発表を行います。

1. 取材可能な日時（具体的な取材時間は、下記時間内で応相談）

日時	内容	場所
6 月 26 日（木） 10 時～12 時	スキープンの効果や使用方法の紹介	東京都
6 月 26 日（木） 13 時～17 時	国際シンポジウム「African Agriculture and the Utilization of Japan's Newest Technology in the Era of Global Climate Change（地球沸騰化時代のアフリカ農業と日本の最新科学技術の応用）」 https://www.a.u-tokyo.ac.jp/event/event_20250626-1.html 開会の挨拶：トーフアス・カーファ駐日ウガンダ共和国大使 発表者：アクプランタ、東京大学大学院、NARO、JICA 他	東京大学

※詳細はお問い合わせください。

2. 案件概要

企業名：アクプランタ株式会社 (<https://ac-planta.com/>)

案件名：ウガンダ国干ばつでの植物生育を促進するバイオスティミュラントにかかるビジネス
化実証事業

契約期間：2024 年 3 月～2025 年 7 月

案件概要：https://www2.jica.go.jp/ja/priv_sme_partner/document/1613/Bz231063_summary.pdf

※「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）」概要

中小企業・SDGs ビジネス支援事業（JICA Biz）は、日本の民間企業等が自社の優れた製品・技術・サービス・ノウハウを活用して開発途上国の課題解決に貢献するためのビジネスづくりをサポートする事業です。JICA は、日本企業の技術と現地のニーズを結びつけることで、途上国の社会課題の解決と企業等の国際展開の両立を図ります。

https://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/activities/sme/index.html

取材のご案内



独立行政法人国際協力機構
2025 年 6 月 20 日

取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先へ **6 月 24 日 (水) 17 時迄**にご連絡お願いいたします。

JICA 民間連携事業部 藤本舞／對馬圭吾

TEL 080-7107-1671 / 080-7139-1809

e-mail : Fujimoto.Mai@jica.go.jp / Tsushima.Keigo@jica.go.jp